

# PEACE GOURD



9条の会・養老  
会報、第7号  
2017年5月24日  
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

弁護士を招いて「共謀罪（テロ等準備罪）」学習座談会を開催しました。  
… 大垣警察市民監視事件を参考に …（4月15日、広幡公民館）

2017年5月  
世話人 問山尚義

## ◆「逮捕と有罪は別、でも…」◆

「共謀罪」の先取りといわれる大垣警察市民監視事件の弁護団に加わっている、山本妙弁護士をお招きして、この事件を題材に、「共謀罪」の学習座談会を開催しました。

山本弁護士は、冒頭「逮捕イコール有罪ではありません。」と強調しました。「共謀罪」は犯罪の最も初期の段階「共謀」を罰するものです。（普通は最後の既遂で逮捕、立件）

政府答弁で、「一般の人は『罪』にならない」という言葉の意味がわかってきます。たしかに有罪（『罪』）にはならないかもしれないが、「共謀罪」の性質上、逮捕やガサ入れ（強制捜査）のハードルはうんと下がります。逮捕を恐れて市民がものを言わなくなる→民主主義の自死。なるほどそういうことか。テロ対策は看板だけ（法案にテロの文言は無い）。

弁護士によるスライドを使った解説のあと、座談会形式の討論を行いました。

## ◆大垣警察市民監視事件とは◆

2014年7月朝日新聞の報道によって明るみに出た、警察による市民監視事件

中部電力の子会社シーテックの風力発電所計画をめぐる、岐阜県警大垣署が特定の市民の個人情報を集め、同社に教えていた事件で、監視を受けた市民ら4名が、基本的人権の侵害に対する損害賠償を求めて、岐阜県を相手に昨年12月に提訴をした。

## ◆事件原告も参加◆

当日は27名の参加で、この事件の原告の一人の三輪さんも参加されていました。また中日新聞の記者の方も取材に来ていました。

逮捕は、警察が予測に基づいてやるものです。逮捕と有罪は同じではありません。

でもみなさん、結果無罪であつても逮捕されたらビビりますよね。

ビビって（市民運動は）ドン引きしますよね。

これがこの法案（共謀罪）のねらいなんです。

当日の山本弁護士は各地の講演の連続で痛めた喉の回復途上だったようです。

4月15日 広幡公民館にて  
解説する山本弁護士



## シール投票、「憲法9条を守る」昨年7割、今回5割



「憲法9条を守る？変える？」を高校生らに聞いてシールを貼ってもらう、このシール投票を昨年に続き今年も4月27日(木)養老鉄道烏江駅前で行いました。当日はやや風の強い日ではありましたが、「9条の会・養老」のスタッフ9名で実施しました。烏江駅は大垣養老高校の生徒さんが利用されています。

結果は「9条を守る？変える？」の声かけに126名の方が応じてくれ、このうち64名(51%)の方が現行の「9条を守る」にシールを貼り、62名(49%)が「わからない」に貼り、「変える」は0名でした。高校生のみなさんはとてもさわやかに応じてくれました。ある生徒は呼びかけにすぐ「9条を守る」に黙ってシールを貼り自分の意志を示されました。友達同士で「死にたくないよ」と話しながらされた人もいました。また、「9条って何ですか？」と聞いてくる人もいました。

全体として気になることは昨年に比べ「憲法9条を守る」の比率が昨年の7割から5割に減り、「わからない」が昨年の3割から5割に高くなったことです。最初のグループの10人ほどの中に数名が、「うーん、わからない」といつてきました。最近、「9条を守る」ことについて報道が減少しています。わたしはこの「わからない」に強い危機感を抱いています。わからないうちに戦争ができる国に変えられていきます。かつての戦争によって多くの命が奪われました。この悲惨な戦争を二度と起こしてはならないという決意で「憲法9条」ができたのです。

憲法は国を守るべきものです。わたしたちは戦後70年この憲法9条によって平和の中で生活ができました。それなのに子や孫には戦争ができる国にしていっていいのだろうかと思います。戦争をしようとするときには、国はいろいろ理屈をつけます。しかし、戦争は人と人が殺し合うことです。世界が不安定になる時、戦争が美化され、戦争が容認されていきます。そして徐々に平和を叫ぶ声があげられなくなっていくのです。やがて戦死者がさらに美化されていくのです。今こそ世界の人が命を大切にしよう、戦争をしない「憲法9条」を守っていきましょう。

世話人 堀江 法夫



## 沖縄・米軍基地取材レポート その④

報告：佐竹 哲（世話人）

前回に続き、昨年12月14日～16日の3日間、沖縄取材をした最終報告と併せて、今月（5月）11日、岐阜沖縄県人会会長の大城豊次さんの講演（真宗大谷派・9条の会 大垣主催）に配布いただいた文章「本土の皆さんへ訴える」の一部を記載致します。

### ◎辺野古では地方自治が国によって圧殺！

1996(平成8)年、日米合意によって世界一危険といわれる普天間基地(宜野湾市)を返還し、名護市辺野古に移設することが決まりました。しかし、2010(平成22)年、名護市長選に稲嶺氏が当選し、稲嶺氏は「移設反対」の立場を明らかにしました。2014(平成26)年の選挙においても稲嶺市長は大差で再選を果たし、名護市民は政府に対して基地建設反対の民意を示したのです。にもかかわらず、政府は全く耳を貸さず、先月末より辺野古沿岸埋め立て工事を開始しました。地元の声をこれほど無視する国家を民主国家といえるのでしょうか。名護市ではまさに国家権力によって地方自治が圧殺されています。

私たちが取材した頃は未だ基地建設工事は中断されていました。座り込みを続ける住民の方も私たちを明るく歓迎してくれました。その頃を思うと辺野古の方の今の苦しみが想像され、私も苦しくなります。同時に本土の人の無関心が気がかりです。実はこれは、私たちの人権問題ではないのでしょうか。



・名護市辺野古の米軍基地キャンプシュワブの第一ゲートをフェンス越しに撮影。12/16



・辺野古基地建設反対運動（座り込み）は今年4月1日で1000日を迎えた。12/16撮影



5/15 辺野古沿岸、護岸工事のため、石材が波打ち際に次々と投下されている。  
【沖縄タイムスプラス 2017/05/15】

### 「本土の皆さんへ訴える」（一部抜粋）

岐阜沖縄県人会会長 大城豊次さん

日本政府は沖縄の存在価値は米軍基地であって、重要なのは米軍基地だから、そこに住んでいる人間はどうなっても良いと考えているようです。日本の安全と国民の命を守ると称して沖縄県民を命の危険にさらし続けているこの現実、日本の安全と言うのなら沖縄の安全はどうなるのでしょうか、沖縄は日本ではないのでしょうか、沖縄県民は日本国民ではないのでしょうか、それとも沖縄は憲法番外地なのでしょうか。

5月19日（金）

自民、公明、維新の賛成で「共謀罪」が委員会採決。情勢緊迫のもと、様々な集会在催されています。



4月22日、もの言う自由を守る会、第2回総会  
スイトピアセンター6F（テレビ取材あり）



5月17日、大垣警察市民監視事件第2回口頭弁論  
岐阜地裁前集会。次回は7月12日

5月19日  
共謀罪絶対反対  
市民大集会で  
講演する  
海渡雄一弁護士  
長良川国際会議場



## ..... 今後のイベント予定 .....

- ★5月25日（木）午前11時30分より「共謀罪に反対するランチタイムパレード」  
場所：岐阜市美江寺公園 →→→ ●主催：岐阜県弁護士会
- ★6月10日（土）午後1時より「憲法施行70周年記念シンポジウム」  
場所：岐阜県弁護士会館3F →→→ ●主催：岐阜県弁護士会

### 編集後記

季節も初夏となり田んぼに水が入り、朝夕の風の無い日は、鏡のような田んぼの水面に養老山が映るようになりました。これも日本の原風景でしょうか。「男はつらいよ」の山田洋次監督が以前に、これ以上日本の原風景を壊さないでほしいと言われたことを思い出しました。

それにしても憲法記念日に、安倍総理が自民党総裁として、憲法9条に3項を追加して自衛隊を明記すると言ったことには驚きました。9条2項との矛盾を回避するためには3項は但し書きにするしかありません。2項の死文化の始まりです。授權法によって、ワイマール憲法を1字1句変えないまま死文化させたヒトラーの手口に似ていませんか

問山 尚義（世話人）

### 連絡先

「9条の会・養老」世話人  
090-9183-0444 中野一美（代表）  
090-9894-0444 佐竹 哲  
090-2348-0719 問山尚義  
090-4857-1385 堀江法夫  
fax（問山）  
0584-71-8746  
E-mail（問山）  
toiyama@ninus.ocn.ne.jp